

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	主要地方道名古屋岡崎線（オアシス橋工区）				
事業箇所	刈谷市東境町地内				
事業のあらまし	<p>主要地方道名古屋岡崎線は、名古屋市と岡崎市を結ぶとともに、新東名高速道路や名古屋環状2号線などにアクセスする重要な幹線道路である。さらに、第二次緊急輸送道路として位置づけられており、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間は、2004年度に暫定2車線で供用が開始されているが、刈谷ハイウェイオアシスへのアクセス道路であることから、休日を中心に混雑が発生している。また、伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキングエリアにおいて、2023年度に刈谷スマートインターチェンジが新設されたことから、今後も交通量の増大による渋滞の発生が懸念される。</p> <p>このため、高規格道路へのアクセス性向上、主要渋滞箇所等の渋滞緩和及び緊急輸送道路ネットワークの強化を主な目的として、主要地方道名古屋岡崎線の4車線化を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>「あいち社会資本整備方針 2025 11 の取組方針」より</p> <p>① 陸・海・空一体の国際競争力の強化（高規格道路へのアクセス性向上）</p> <p>② 地域の活性化（地域の主要渋滞箇所等の渋滞緩和）</p> <p>③ 地震・津波対策の推進（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2021年)	再評価時 (2025年)	変動要因の分析	
	事業期間	2022年度 ～2025年度	2022年度 ～2030年度	景観配慮に関する地元調整による延伸	
	事業費（億円）	12.0	12.0		
	経費内訳	工事費	11.0	11.0	
		用補費	0.0	0.0	
その他		1.0	1.0		
事業内容	4車線化 延長 L=1.0km 幅員 W=26.3m 4車線	4車線化 延長 L=1.0km 幅員 W=26.3m 4車線			
II 評価					
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>① 陸・海・空一体の国際競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年に伊勢湾岸自動車道刈谷スマートインターチェンジが事業化され、整備中である。 ・製造品出荷額等で全国上位の豊田市・刈谷市や増加傾向にある豊明市から伊勢湾岸自動車道へのアクセス道路となり、物流効率化に寄与することから本事業の必要性は高い。 <p>② 地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気観光施設である刈谷ハイウェイオアシスへのアクセス道路として周辺道路は休日を中心に混雑が発生しており、交通容量の拡大を図る必要がある。 <p>(H27 センサス交通量（混雑度） 現道区間：11,930台/日（0.85）、国道1号：45,673台/日（1.22）、一般県道みよし沓掛線：8,425台/日（1.33））</p>			

2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観について、本路線が通過する岩ヶ池公園の管理者である刈谷市を始め、地元との調整に時間を要したため。 	
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観配慮に関する地元調整に時間を要したが、2025 年度に学識者を含めた検討会を開催し、地元理解が得られたため阻害要因は解消した。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね 2029 年度までに整備が完了する予定である。 	
判定	B	<p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業は順調であり、概ね 2029 年度までに整備完了が見込まれるため。
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
IV 再評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 5 年目） □対象外 【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度</p>		